

幸福を、平和を、豊かな心を、カンボジアの友と分かち合おう

Angkor Wat

アンコールワット

発行日:2016年(平成28年)3月1日 《年6回・奇数月発行》 会報 第87号

特定非営利活動法人(NPO法人)

21世紀のカンボジアを支援する会

《AAC21》ASSOCIATION OF AID FOR CAMBODIA IN 21 CENTURY

【東京本部】〒176-0011 東京都練馬区豊玉上2-25-7-203
TEL:03-3991-2854 FAX:03-3557-1213
E-mail:info@aac21.net【カンボジア事務所】Phon Preytea, Sangkat Chaom Chao,Khan Por Senchy
Khan Por Senchy,(Borey Newtown) Phnom Penh
(855) 78-784-808 (855) 17-599-707

【ホームページ】 AAC21 検索

【公式ブログ】 メコンの風に吹かれて 検索

【Facebook】 https://www.facebook.com/aac21.net 検索

二本松ロータリークラブが遊具を寄贈

カンボジアの小学生が楽しく遊べるようにと、二本松ロータリークラブ(福島県二本松市、法人会員)が二つの小学校に遊具(ブランコと滑り台)を寄贈してくれた。1月19日、同クラブのメンバー(3人)が出席して、贈呈式が行われた。

カンボジアでは遊具のある小学校が少なく、同小学校から、遊具がほしいと



ロータリークラブの皆さんと子どもたち



すべり台で遊ぶ子どもたち

の要望が以前から出されていた。

同クラブは、4年前から本会を通じてカンボジア支援を開始、井戸・トイレ・楽器などを各小学校に寄贈してくれた。また、同クラブのメンバーの一部は里親会員でもあり、今回もお土産を持参して教育支援する里子の家を訪問した。里子は中学3年生になり、里親会員さんは子どもの成長を喜んでいた。



完成した塀と正門



2階建ての一階部分を改修

立派な塀と正門が完成しました

児童養護施設「夢ホーム」に面する道路の拡張工事が行われることになり、塀を10メートル程、敷地内に下げる必要が生じた。そこで「お年玉募金」として会員の皆様にご協力をお願いしたところ沢山の浄財をいただき、この程立派な塀と正門が完成した。併せて、以前本会事務所として使用していた2階建てを一部改修し、食堂や売店用に貸し出し、夢ホームの運営に資することにした。借りてくれる人を現在募集している。ご支援してくださった皆さん、ありがとうございました。

寒い日本から

暖かいカンボジアへ

NPO法人 21世紀のカンボジアを支援する会

理事長 根岸 恒次

カンボジアにも緩やかな季節変動があり、日本の冬に当たる1月は比較的涼しく、雨も少ないので湿度も低く、快適な日々だった。カンボジアに通信始めて20年、

カンボジアに渡航する日本人の増加に備え、大型ショッピングセンター(イオンモール)や日本のホテル(東横イン)、日系銀行(マールハン銀行)、日本料理店、日本

松の内も終わっていないのに、今年1月7日から23日まで、カンボジアに滞在した。日本は寒波に見舞われる厳冬期、いつときでも温暖なカンボジアで暮らせる特権を感謝。

何もなかった首都プノンペンだったが、最近日本が引越してきただけでは?と思えるほど、日本の進出が顕著だ。日本といえば「アジノモト」の時代が終わった感がある。

人向けのキャバクラ、日本語の情報誌などが巷に溢れている。情報誌には、日本人医師による歯科医院、クリニックなどがオープンしたという広告が並ぶ。

移住する日本人も増えている。特に若者。閉塞感ただよう日本に見切りをつけたのか?成長著しいカンボジアで夢を実現したいそう。

高齢者も増えつつある。こちらはのんびりと余生を過ごしたい世代。チョットとしたボランティア活動しながら暮らすのが夢だという。

どちらにせよ今はグローバルな時代、日本を飛び出して海外へ羽ばたくことは大歓迎。良くも悪くも、日本という国を第三者の視点

で捉えることは大事なことです。

特に、勤めが終わり何もすることがないと嘆く高齢者には海外移住を勧めたい。今まで培った経験、



日本からの支援を感謝する子どもたち (写真提供=鈴木千雄様)

技術、知識を海外で活かしてみたい? 途上国は、まだまだあなたを必要としている。

カンボジアの子どもたちをサポートしてください



里親さん、ありがとう

クメール教育里親会員募集

長かった内戦が終わって平和になったカンボジアですが、国の復興はなかなか進まず、多くの人々は貧困に苦しんでいます。特に農村では、貧しかったり親を亡くしたりして学校へすら行けない子どもや、学校へ行けても途中でやめてしまう子どもが後を断ちません。

本会では、農村の子どもたちが学校へ行けるようにと、教育資金をサポートしてくれる里親さんを募集しております。

例えば70年前、敗戦して焦土となった日本を救ってくれたのは、諸外国からの援助でした。カンボジアも食料援助をしてくださいました。日本の子どもたちもその恩恵を受け学校に行けるようになりました。豊かになった私たちが、今度は困っているアジアの子どもたちを支援する番です。

※お友達グループや職場など、グループ単位でサポートしていただくこともできます。

【年会費】: 子ども1人につき、1年間3万円。一括納入、分割納入(毎月、年3回、年2回)のどちらでも可。所定の郵便振替用紙を使ってお振込みください。

【会費の用途】: 年会費の40%が、学用品、制服、靴などの購入、学校への納付金、お小遣い、生活資金など、子どものために使われます。年会費の60%が、夢ホームで暮らす子どもたちの生活費及び運営費、里子をケアして下さる各学校への謝礼金、現地スタッフの給料・ガソリン代・事務所家賃・車の減価償却費など現地でかかる経費、通信費・印刷費・人件費など東京の本部でかかる経費として使われます。

【サポート期間】: 最低1年間単位ですが、少なくとも里子が学校を卒業するまでの期間、サポートしていただけたら幸いです。里子からは年2回、近況を報せる手紙(日本語に翻訳)と写真が届きます。(年に一度、成績表も届きます)

【里子との交流】: 里親さんからの手紙、プレゼントも里子に届けることができ、心あたたまる交流ができます。(お礼状と写真が届きます)

本会は皆様からの寄付金のみで活動しているNPO法人であり、現在公的資金(税金)はいただいておりません。

児童養護施設夢ホーム日記

カンボジアのコンボンスピー県にある児童養護施設「夢ホーム」は、両親や片親を亡くしたり、親がいても家庭的に恵まれない子どもたちの生活と教育の場として、会員の皆様のご厚意により2009年3月に開園した。現在9歳から18歳までの10人の子どもたちが暮らし、近隣の小・中・高校に通学している。

■ スタッフは3人でスタート

昨年末、調理担当のスタッフが都合により退職、今年から園長・保母(2人)の合計3人で夢ホームを運営する。

■ デジカメをありがとう

毎年この時期に必要な品物を寄贈してくれる根谷崎百合子さん(神奈川県藤沢市、里親会員)と米倉貴美子さん(神奈川県藤沢市、会員)から、今年はデジタルカメラが贈られた。感謝!

■ まるで果樹園

夢ホーム内の果物の木に実がつき始めた。子どもたちのおやつに、また今後は運営資金のため販売も考えている。



ありがとうございました



実がつき始めたマンゴーの木

昨年11月の「セナールプロモック小学校」(プレアビシア県、宮下隆さんが寄贈)に続き、青空小学校に新校舎の建設が決まり、1月16日に着工式が行われた。鈴木千雄さん(愛知県あま市、里親会員)が、建設協力を申し出てくれた。新校舎ができるのは、カンボット県アンカニユコスラー郡デチョーアンカニユコスラーの小学校。生徒数は今のところ約50人だが、遠方の小学校に通っていた子どもたちや、未就学の子どもたちを合わせ、約120人が通学する。



着工式に集まった子どもたち(写真提供=鈴木千雄様)

今年も青空小学校に校舎ができます

ホームの職業訓練棟を入れると3つ目の建物寄贈。このほかに井戸も沢山作り、カンボジアの人たち、特に子どもたちに感謝されている。

「世界の恵まれない地域に小学校を作る会」が校舎を寄贈した小学校を訪問

1月14日(16日)、「世界の恵まれない地域に小学校を作る会」(新潟市秋葉区、石川幸夫代表)の一行(5人)がカンボジアに滞在、15日、2年前に同会が校舎を寄贈した「トントロラッチ」にいがた小学校(コンボンチャム県、生徒数200人)を訪問した。一行は小学校を見学した後生徒たちを集め、学用品、飴、サッカーボールを寄贈した。参加者の一人が、子どもたちに手品を披露し、喝采をあげた。



学用品を配る石川代表(写真提供=鈴木千雄様)

上山陽子さんがボランティア活動

1月19日(20日)、上山陽子さん(奈良県大淀町、法人監事・里親会員)が夢ホームに宿泊、近隣の「タメイ幼稚園」と「タメイ小学校」にて遊戯と音楽指導のボランティア活動を行った。上山さんは、プノンペンの本会オフィスの近くにアパートを借り、隔月にカンボジアを訪問して活動している。



タメイ幼稚園で遊戯指導

ソリヤ小学校の新校舎完成間近!

土橋傑さん(神戸市中央区、里親会員)の資金協力により建設が進んでいる「ソリヤ小学校」(コンボンスピー県オラル郡・生徒数1100人)の新校舎が完成間近になった。建物には細かな修正箇所を除きほぼ完成、3月7日の開校式を待つばかり。

新校舎は3教室、2人用のトイレも併設する。同小学校は校舎がなかったため、村の集会所を借りて授業していた。



完成が待たれる新校舎

沢山の寄贈品を届ける

1月も沢山の荷物を預かり、空港から持参して村に住む子や小学校に通う子たちに配布した。持ち運ぶ量に限度はあるが、渡航者にお願いで現地へ運び、役立てている。今回は、小林なおみさん、山本信子さん、吉見美津江さん、和田久美子さん、あきやま眼科さんなどから頂いた文具、衣料品などを届けた。



衣料品を受け取る村の子どもたち

ウォッチ

交通違反者への取り締まり強化

カンボジア国家警察は、昨年12月に交通違反者への取り締まり強化と、違反者に対する厳格な罰則を発表した。

具体的には、酒気帯び運転、ヘルメットやシートベルトの未着用、車両の過積載、整備不良車への取り締まり。

カンボジアの人口は約1千5百万人のところ、交通事故による死者数は1千3百人を超え、わが国と比較しても格段に多いのが実情。

この機会に、無謀運転の絶滅と交通マナーの徹底をお願いしたい。



有料道路の料金所を閉鎖

今年から、国道4号線をはじめ、全国主要幹線の料金所が閉鎖された。特に国道4号線は、本会事務所から夢ホームに行くのに、どうしても料金所を通過するので大助かり。元が取れたというところか。

噂では、2年後に迫った政権与党の選挙目当てとの指摘も。そういえば、わが国も似たような事をやっている。



金貸し業者、小学校に現る

夢ホームの子どもたちが通う小学校の庭で、なにやら怪しい雰囲気を取り引きが行われていた。学校の教師を対象に、業者がお金の貸し借りをしており、場所が場所だけにビックリした。何でもありのカンボジアではあるも、限度があると思うのだが。



カンボジア

村には意外に高齢者が多く住んでいる

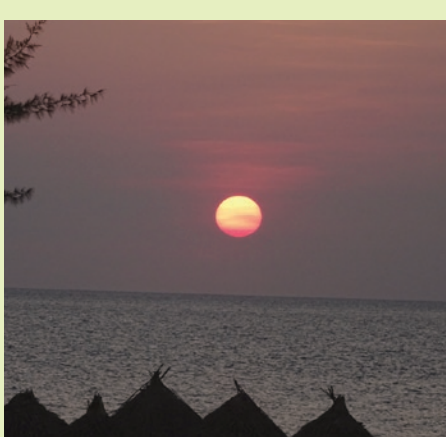
カンボジアでは、ポルポト政権や内戦により人口が激減、高齢者は少ないと聞いていたが、意外に地方の村々には高齢者が多く住んでいることがわかった。

その理由として、ポルポト政権下ではプノンペンなどの都市に住む住民は「新人民」として地方に強制移住させられ、多くの犠牲者が出たものの、元々村に住んでいた住民は多くが生き残ったそう。里子を訪問しても、働く母親や父親の留守を預かり、子どもを世話している老人が多い。



カンボジアの夕日はきれい

海のある「シアヌークビル」はカンボジア最大の後楽地、海岸に沈む夕日がきれいなリゾート地。またま骨休みに寄った「シアヌークビル」のホテルから撮った落陽の写真。カンボジアにお越しの際には是非お立ち寄りをお勧めしたい。



教育里子へのプレゼントについてお願い

●里子へのプレゼントを届ける方法は2つです。

①現地(カンボジア)購入

本会の現地スタッフがカンボジアで購入し、教育里子に届けます。所定の郵便振込票を使ってお送りください。プレゼントの種類は、下記の通りです。

- 自転車(大人用・中古品) 8,000円
- お米&お菓子セット(お米は50kg) 6,000円
- Tシャツ・サンダルセット 2,000円
(Tシャツ2枚&ぞうり1足)
- 本セット 1,000円
(絵本2冊/中学生以上は英語辞書1冊)

②日本から持参

現物を練馬区の事務局に送っていただき、カンボジア訪問時に現地へ持参します。空港からの持ち出しに重量制限がありますので、A4サイズ封筒に入る程度にしてください。

※現物が多い場合、現地への持参を先に延ばしていただくこともありますので、予めご承知ください。

- 奇数月にカンボジアを訪問しますので、プレゼント(現物・現金ともに)は偶数月の末日までに届きますよう、お送りください。
- 詳細は、事務局までお問い合わせください。
(Tel.03-3991-2854)



里子家庭訪問記録

名前: キム・スレイナーン	学校名: ボンルーコールボット中学校
年齢: 13歳	学年: 中学1年生
性別: 女の子	
住んでいる場所: コンボンスプー県 コンビセイ郡 ヴィルコミュン トロピアンヴェン村	
学校までの所要時間: 自転車10分	
好きな教科: 国語(特に、作文が上手です)	
苦手な教科: 理科(特に、地理学が苦手です)	
担任から一言: 成績は、道徳:B 学校活動:B 健康:B 出席:B	
家庭状況: 現在、お祖母さんと暮らしています。姉妹は2人です。 姉1人キム・スレイナーンちゃんは第2子です。	
一日の過ごし方: キム・スレイナーンちゃんは毎朝5時に起きます。 お祖母さんがお菓子を作るのを手伝います。6時半に学校へ行きます。 昼ご飯を食べて、血を洗って3時に英語の学校に通います。晩ご飯は7時頃食べ、先生から出された宿題をします。9時ごろ寝ます。	
好きな遊び: 縄跳び 好きな食べ物: りんご、バナナ、野菜炒め	
将来の夢: 医者になりたいです。	



木に水をやっているスレイナーンちゃん(中学校で)

備考: キム・スレイナーンちゃんのお祖母さんはお米を作っていないので、あまり忙しくないですが、生活はあまりよくないです。毎日、少しお菓子を作って市場で売ります。それ以外に、少し野菜を作っています。
お祖母さんは「キム・スレイナーンちゃんは頑張って勉強しています。」と言います。キム・スレイナーンちゃんは「本当に医者になりたいので、一生懸命勉強する」と言います。
彼女のお母さんはブノンペンで働いていて、毎月40〜50ドルを送金してくれます。そのお金は毎日の生活に使います。

担当者: チア・スレイニッチ(現地スタッフ)

本会では、病氣や事故、親の離婚などにより両親や片親を失い、且つ貧しい環境にあるカンボジアの子どもたちが安心して学ぶことができるようにと、2003年に「クメール教育里親基金」を創設、現在約380人の子どもたちを教育支援している。

カンボジア滞在中(1月7日、23日)、鈴木千雄さん(愛知県あま市、里親会員)と安斎秀雄さん(福島県二本松市、里親会員)の里子訪問に同行した。

また17人の里子に、教育里親さんから預かったプレゼントを届けた。回れなかった里子へのプレゼントは、後日スタッフが届けることになっている。

最近のカンボジの動向として、



里子を訪問した安斎秀雄さん

クメール教育里親基金活動レポート

縫製工場の地方への進出が加速しており、里子の母親などが追いつてられるように工場へ就職している。一昔前は細々と農業に従事していたが、田んぼが工場に変わり、農民が女工さんに変わってきた。(根岸恒次・法人理事長)

鈴木千雄さんが地元の板金組合で講演

12月5日と6日、鈴木千雄さん(愛知県あま市、里親会員)が地元で講演に招かれ、会のPRに役を買ってくれた。

5日は東三河板金組合の総会で、6日は愛知県板金工業組合青年部研修会で、カンボジア(夢ホーム)での板金加工技術の修得を目的とした職業訓練について講演した。

特に6日の青年部研修会では、カンボジアを訪問したい声が多く聞かれた。また、両講演会で沢山の浄財が寄せられた。



講演する鈴木千雄さん

メコンの風に吹かれて出版記念祝賀会を開催

12月5日、レストラン「サンアラハ」(横浜市)において恒例の忘年会を兼ね、「メコンの風に吹かれて」出版記念祝賀会が開催され、本会会員など30人が集った。

「メコンの風に吹かれて」は本会の公式ブログとして、根岸理事長が毎週執筆しており、すでにアクセス数も3万件を超え好評を博している。この程、本にしてほしいという要望に応え、ブログの中から80編を選び、一冊の本にした。

祝賀会には、根岸理事長が関係する他のNPO法人などからも祝福にかけつけてくれた。



祝賀会に集った皆さん(写真提供=遠藤啓様)

投稿 自立に向け、がんばっています「スーン・ロツ」

日本の里親の皆さん、こんにちは。

私はスーン・ロツといいます。

と食事は無料です。いま、このように働いて大学へ行けるのも、里親さんのおかげです。本当にありがとうございます。これからもよろしくお願ひいたします。

昨年10月に高等学校を卒業して、ブノンペン市内のノートン大学電気学科に入学しました。お金が足りないので奨学金をもらい、アルバイトもしています。

里親さんには、小学校4年生から教育支援をしてもらっています。高校を卒業して、里子の資格がなくなりましたが、生活が苦しいので大学を卒業するまで、支援をお願いしています。

アルバイトは、ホテルの受付です。午前中大学へ行き、お昼から夜の9時まで働いて月給は50ドルです。その代わり、ホテルの寮に住んでいますので家賃



高校の卒業証書を見せてくれたスーン・ロツ君



アンコールワット

今年から、アンコール遺跡群の入場券販売事業が正式にカンボジア政府に引き継がれた。これまではベトナムの大手石油会社ソキメックスが同事業を運営していた。所管するカンボジア政府の観光大臣は、「今後は遺跡入場料の収益は国庫に入ることになるだろう」と話した。

1999年よりチケット販売をしていたソキメックスは、入場収益を遺跡管理団体のアプサラ機構と分け合っていた。

アンコール遺跡入場料 政府管理下に



新設が決まった全日空機

全日空がカンボジア線新設

ANAグループは、今年度の航空輸送事業計画の中で、経済成長を続ける東南アジアへの新規路線として、9月1日に成田・ブノンペン線のデイリー運行を開始すると発表した。同路線は、日本・カンボジア間の唯一の定期運行便となる。但し、関係当局の認可取得が前提となる。

過去、幾度となく定期便運行の噂があったものの、実現には至らなかった。今回の運行計画も「狼少年」にならないことを祈りたい。

カンボジアミニニュース

現地で発行している新聞や情報誌などから、カンボジアに関するホットなニュースを紹介いたします

米国務長官が フンセン首相と会談

ケリー米国務長官は、カンボジアのフンセン首相と会談、カンボジアの政治・人権状況の改善を求めた。

カンボジアでは、最大野党のカンボジア救国党、サムレンシー党首が海外滞在中の昨年11月、ホーナムホン外相に対する名誉毀損事件で逮捕状が出され、帰国できない状況になっており、政治対立が深まっている。

同じASEANのミャンマーで政権交代が実現したこと、2018年に総選挙をひかえる政権与党のあせりがあるのかも。



デモ行進するサム・レンシー党首(2013年)

「カンボジア社会経済調査 2014」が公表される

カンボジア計画省統計局が実施した「カンボジア社会経済調査」が公表された。

調査によれば、カンボジアの人口は1,518万4,000人で、2009年から10%増加した。近年、地方から都市部への人口流入が増加する傾向が見られるという。

識字率は、女性71.8%、男性84.8%、全体では78%と向上した。

プノンペン市内の公共バス

このたびのカンボジア訪問で、プノンペン市内の公共バスに乗ってみた。プノンペンでは、昨年から公共バスが3路線運行している。

セントラルマーケットから公共バスに乗ってみた。韓国製で乗り心地は良くない。日本のバスはエアクッションだが、このバスは板バネのようだ。

運賃は、大人1人1500リエル(45円)、但し20歳以下と60歳以上は無料。車内が広いのと、ゆっくり走るので、思ったより快適だった。

一応時刻表はあるが、時刻通



プノンペン市内の公共バス

トゥッッサナー・カンボジア

※トゥッッサナーとは観察するという意味です

りにバスは来ない。帰りが45分待たなければならないので、結局トクで戻った。

(中野勝・兵庫県宝塚市、理事)

とはいえ、実際に行き来することとは困難ですので、当面、文通や絵画の交換などを通じ、両国の友好親善に寄与するとともに、学びあう機会を設けます。

本会が運営する児童養護施設「夢ホーム」の子どもたちが通学する「タメイ小学校」(生徒数



タメイ小学校の生徒たち

カンボジアの小学校と交流してください

本会では、支援一辺倒の活動から、両国(特に子どもたち)の相互交流活動も並行して実施することといたします。

まずは、カンボジアの小学校と日本の小学校が交流し、親交を深めるとともにお互いに学んでいくとするプロジェクトを推進いたします。

お問い合わせは、本会事務局まで。
電話：03(3991)2854

カンボジア語講座が始まる

本会では、カンボジアの人たち特に子どもたちと交流を図ろうと、初心者向けカンボジア語講座を企画、その第1回目が2月6日、本会の「銀座サロン」で開かれた。

講師は、明治大学留学生のノッブ・ヴィサルさん。流暢な日本語で、分かりやすく教えてくれた。

講座は2月～4月にかけて、合計10回行う予定。受講定員は10人。

受講した10人は、難しいカンボジア語の発音に四苦八苦しな



「銀座サロン」で開かれた第1回カンボジア語講座

活動に参加しませんか

ボランティアとして

学用品を現地の学校で配布したり、子どもたちと交流して下さるツアー参加者を募集しています。ツアーは、年3回実施しています。

クメール教育里親基金

農村の貧しい子どもたちが学校に行けるようにと教育資金をサポートして下さる教育里親会を募集しています。サポート金額は年間3万円(分割可)です。

会員として

- ・個人会員(年額1口5千円)
- ・法人会員(年額1口1万円)
- ・教育里親会員(年額里子1人につき3万円)

会員の皆様には、隔月発行する本会の会報「アンコールワット」を発行の都度郵送します。会費の送付は、郵便振替、銀行振込み、現金書留で。

〈郵便振替口座名〉
21世紀のカンボジアを支援する会(口座番号)
0013000160916

※銀行振込をご希望の方は事務局へご報告ください。

※郵貯銀行の自動引き落としを希望の方は事務局へご報告ください。

「メコンの風に吹かれて」出版のご案内

根岸理事長が会の公式ブログ「メコンの風に吹かれて」に掲載した80編が一冊の本になりました。

200頁に満たない小さな単行本ですが、現地カンボジアのことを知るには良い教材です。初版は500部のみです。

ご希望の方は、送料を含む千円を郵便振替票にて事務局へお送りください。(切手でも可)

届き次第、郵送させていただきます。



夢ホームでも鶏を飼っています



エサの取り合いで子犬と鶏がけんかを

カンボジアの農村風景

カンボジアの農村は、昭和の時代を彷彿とさせるレトロな風景が広がる。牛や馬を飼い、庭では鶏がひよこを引き連れてエサをあさる。日本から消えた農村風景を体感してみたい方は是非カンボジアへ!

新しい仲間が増えました

2015年12月～2016年1月に新しく会員になられた方、復活して下さった方をご紹介いたします。ありがとうございます。

教育里親会員

- ・土肥直子様(埼玉県)
- ・小川裕子様(兵庫県)
- ・三木浄万様(兵庫県)
- ・鈴木美由記様(愛知県)
- ・小松晃典様(神奈川県)

個人会員

- ・笠井勝利様(北海道)
- ・三浦桂子様(愛知県)

書き損じハガキ・未使用切手・商品券等をお送りくださいませんか

本会では、書き損じハガキ・未使用の切手・ビールやデパートの商品券を集め、活動資金にしております。皆様の家に眠っているものがございましたら、ご協力くださいますよう、よろしくお願い致します。普通郵便で事務局へお送りください。

事務局便り

■早いもので、今年も2ヶ月が経とうとしています。今年度は、念願だった認定NPO法人格の取得を目指し、準備を進めています。年末までには許可が頂けるよう、頑張ります。

■今年も新しい活動に挑戦します。2月からスタートした「カンボジア語講座」、5月にはカンボジアフェスタ(7日～8日・代々木公園)に初参加、現地では、夢ホーム建物の一部を貸し出し、運営の一助にします。ご支援宜しくお願いいたします。

3月～4月の予定

- 会報「アンコールワット」3月1日付第87号発行
- 第32回カンボジアふれあいの旅(3日～9日)
- カンボジア語講座(3月に4回、4月に3回・銀座サロン)
- 写真展「カンボジアの子どもたち」(4月1日～8日、東村山市民ステーション)
- 東久邇宮記念賞授与式(4月18日、大阪ガーデンパレス)

真珠のように輝く子どもたちの瞳に出会ってみませんか?

「夢ホーム」で子どもたちと楽しい交流・里子の家庭訪問・感動的な小学校校舎の贈呈式、学用品配布など

第33回カンボジアふれあいの旅 参加者募集

本旅行は観光旅行では味わうことのできない現地の子もたちとの交流をはかることができます。

特に本会が運営する児童養護施設「夢ホーム」の子どもたちが皆様をお待ちしております。あわせて学用品配布や小学校校舎、井戸の贈呈式に参加でき、思い出に残る充実した海外旅行を楽しむことができます。

旅行代金も格安に設定しましたので、お気軽にご参加ください。

また、募集は原則として本会会員を対象にしておりますので、会員以外の方は、事前に会員登録(年間一口5,000円)が必要になります。



小学校校舎の贈呈式に出席します



里子の家を訪問します

【旅行期間】2016年7月6日(水)～7月12日(火)〈5泊7日〉

【募集定員】最少催行人員10名様(定員=20名)

先着順で受け付け、定員になり次第締め切ります。

【滞在ホテル】ミトホテル(プノンペン)5泊

【利用空港】成田空港、関西空港、その他

【旅行日程】6日=成田空港・関西空港などから乗り継ぎにてカンボジアのプノンペン国際空港へ

7日=里子の家庭訪問

8日=小学校井戸の贈呈式に出席

9日=小学校校舎の贈呈式に出席

10日=夢ホームを訪問・交流、マーケットで買い物

11日=プノンペン市内観光、午後5時頃ホテルチェックアウト→プノンペン国際空港から帰国の途へ(空港にての現地解散になります)

12日=午前、成田空港、関西空港などに到着

【旅行代金】13万円前後。*現地までの航空券代、現地での宿泊代、食事代、車代など、旅行にかかるほとんどの費用を含みます。*1人部屋希望者追加料金5泊10,000円。*海外旅行保険は各自でおかけください。*カンボジア入国ビザを取得するため、現地空港で30ドルがかかります。

【締切日】2016年5月20日(金)

お問い合わせ・申し込み

旅行企画☆特定非営利活動法人

21世紀のカンボジアを支援する会

〒176-0011

東京都練馬区豊玉上2-25-7-203

TEL:03-3991-2854 E-mail:info@aac21.net

FAX:03-3557-1213 http://www.aac21.net